学校番号	T3006

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	２～４年次
使用教科書	新選日本史Ｂ（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・パワーポイント・プロジェクターを使った視覚・聴覚に訴える授業を予定している。プリントの記入に終始せず、スライドなどもよく観察すること。

2　学習の到達目標

・現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
・スライドなど視聴覚教材（諸資料）に触れ、人間の営みとしての歴史を体感的に理解する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし，国際環境と関連付けて多面的･多角的に考察し，我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を，国際環境と関連付けて総合的に理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	・自分で課題を見つけ，見通しを持って調べようとしているかを，生徒の活動の観察、調べた内容の分析などを通して評価する。 ・学習したことを基にして，さらに新しい課題を見つけているかを，ノートやプリントの分析を通して評価する。	・考察した内容を，ノートやプリントの分析を通して評価する。 ・発問に対する生徒の反応や質問の仕方･内容を観察･吟味して評価する。 ・調べた過程や結果を分かりやすく表現しているかを，発表の仕方や発表資料から評価する。	・資料等を適切に収集・活用しているかを，発表資料や作成したレポートを通して評価する。 ・調べた過程や結果を分かりやすく表現しているかを，発表の仕方や発表資料から評価する。	・筆記テストで，授業で理解した内容，身に付けた知識を確認する。 ・発問に対する回答や各自のノートから，基本的な事柄を理解しているかを分析する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	古代国家・武家社会・近世社会の各形成と各文化	①原始社会の生活と文化 ②農耕社会の形成と大陸文化の摂取 ③律令国家の形成と古代文化の展開 ④摂関政治と文化の和様化 ⑤中世社会の成立 ⑥武家社会の形成と東ジア ⑦ヨーロッパ文化との接触と国内統一 ⑧幕藩体制の成立 ⑨近世の発達と町人文化 ⑩幕藩体制の動揺と庶民文化の発達	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	期末に実施する筆記テストの成績、レポートの出来、平常点(出欠状況・授業態度・学習への関心・プリント提出状況)を勘案して総合的に評価する。
後期	近代国家・現代世界の両形成と両文化	①開国から明治維新へ ②立憲政治の形成と国民文化 ③日本の近代化と東アジア ④デモクラシーと第一次世界大戦 ⑤激動する世界と日本 ⑥占領と国内改革 ⑦国際社会への復帰と高度経済成長 ⑧石油ショックと低成長の時代 ⑨新しい国際秩序と日本の課題	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ 	a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	期末に実施する筆記テストの成績、レポートの出来、平常点(出欠状況・授業態度・学習への関心・プリント提出状況)を勘案して総合的に評価する。

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 思考・判断・表現
c: :資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。